



Go For 90th→100th

守り・支え 未来へ 繋ぐ

足立区をもっと元気に

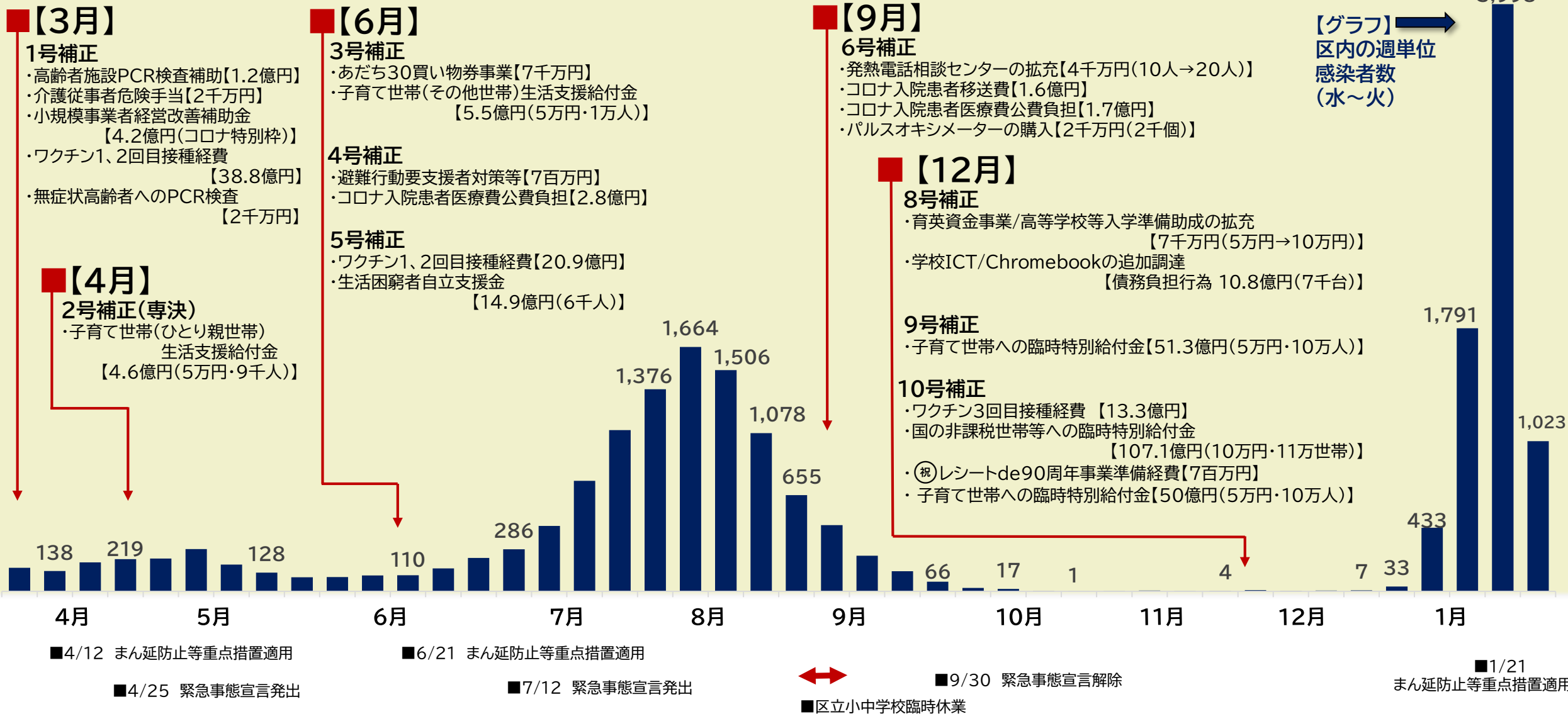
令和4年度 予算編成のあらまし

令和3年度補正予算の編成状況

補正予算
(1/31現在)

10回

当初予算より364億円増
うちコロナ経費は335億円増



令和4年度一般会計当初予算の概要 ①（歳出）

予算規模 **3,154億円**

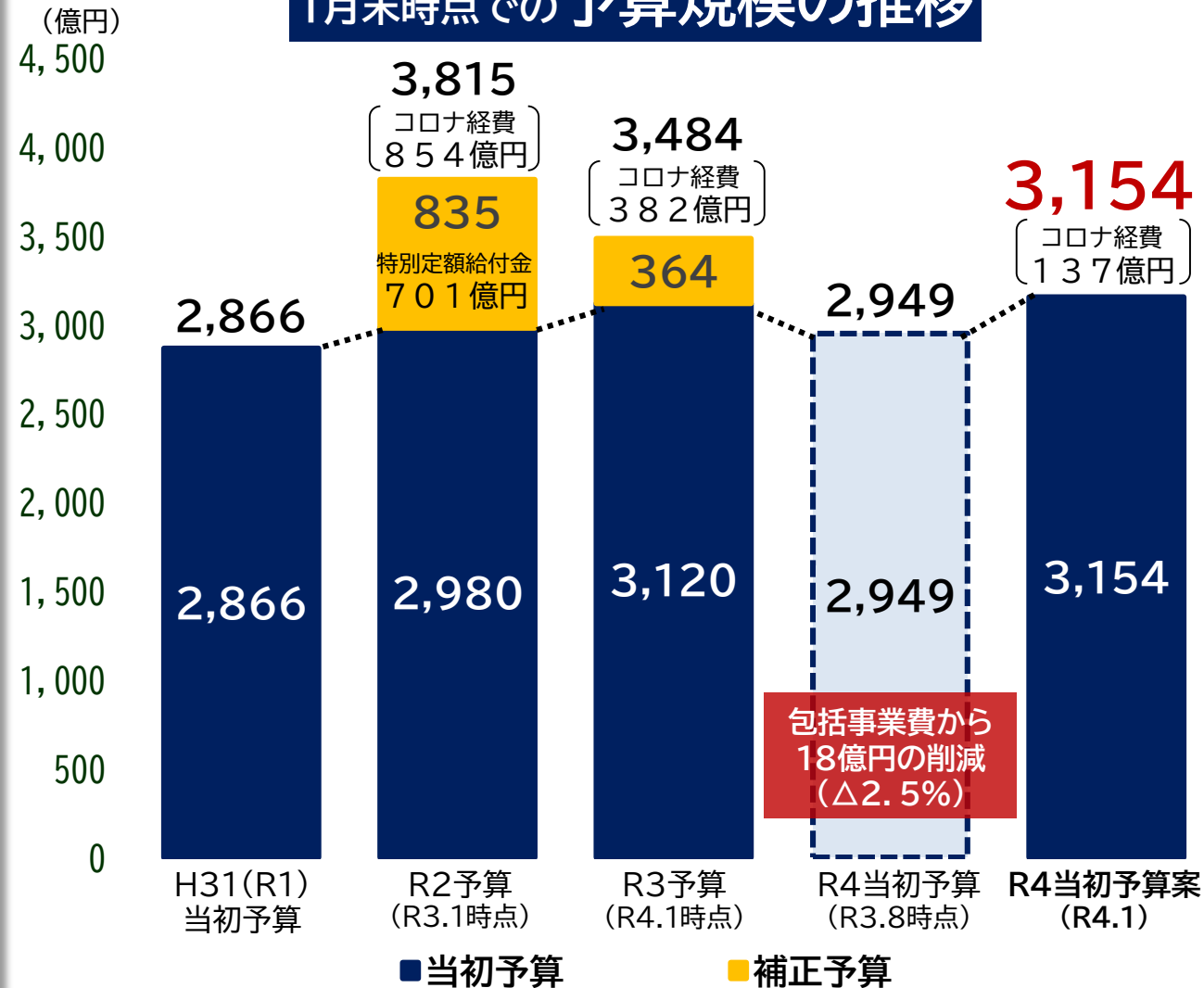
+34億円(+1.1%)

8年連続過去最大を更新

歳出の主な増減要因

■「あだちから」生活応援 臨時給付金(区独自の給付金)	+60億円
■新型コロナウイルス ワクチン3回目接種	+44億円
■綾瀬駅前交通広場 整備用地の取得	+34億円
■区立小・中学校の改築 (R3:4校→R4:2校)	△83億円

1月末時点での予算規模の推移



令和4年度一般会計当初予算の概要 ② (歳入)

景気の回復基調による増収

①特別区交付金 1,032億円 **前年度比 +90億円**

- ・企業業績回復に伴う法人住民税の増加見込みによる増額

②特別区税 515億円 **前年度比 +40億円**

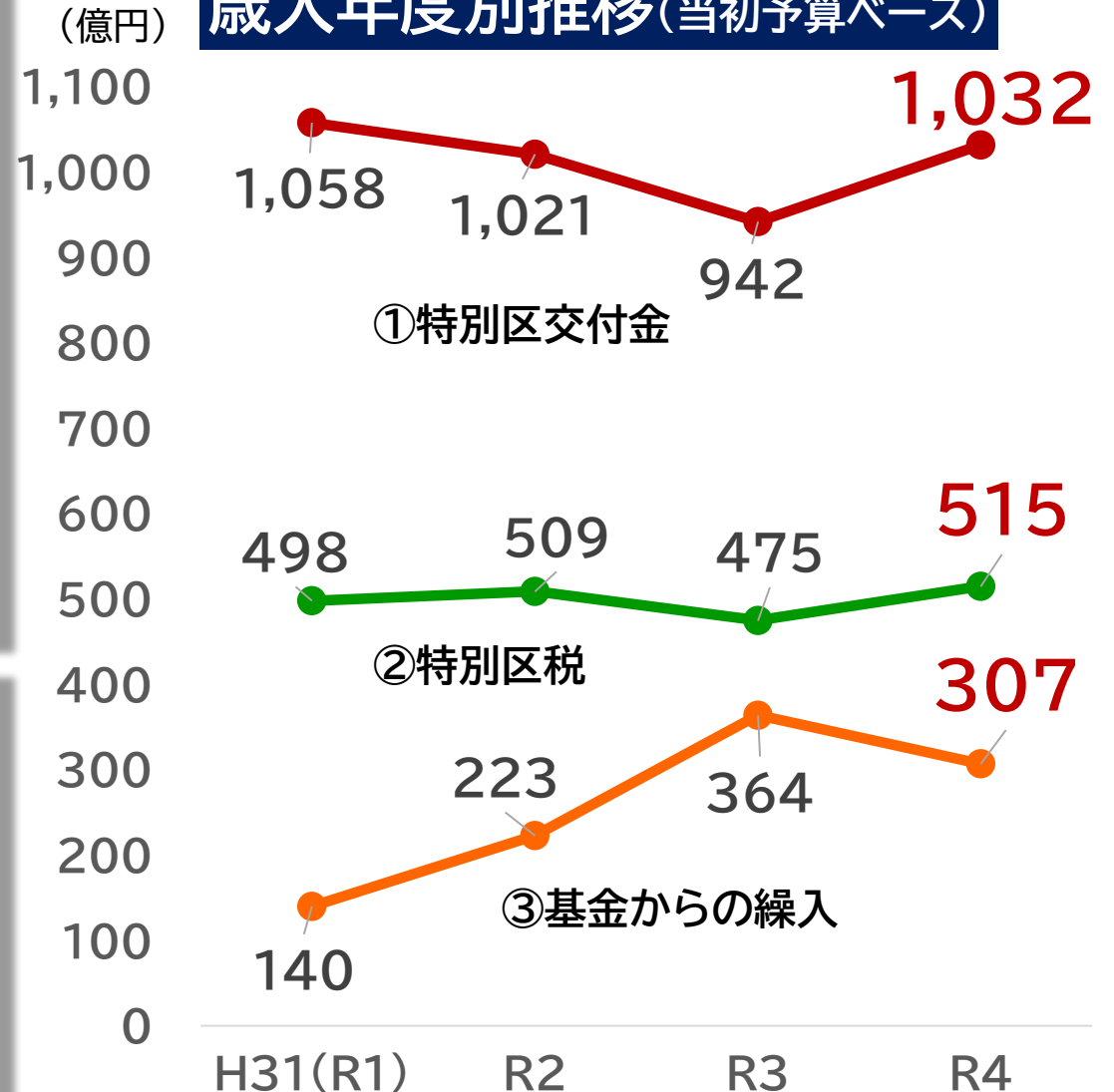
- ・ワクチン接種普及に伴う経済活動再開により失業率が改善傾向
- ・最低賃金の引き上げ等、雇用状況の改善

基金の活用

③基金からの繰入 307億円 **前年度比 △57億円**

- ・財政調整基金 115億円(区独自の給付金60億円ほか)
- ・公共施設建設資金積立基金 62億円(綾瀬駅前交通広場用地20億円ほか)
- ・義務教育施設建設等資金積立基金 87億円(学校改築56億円ほか)

歳入年度別推移(当初予算ベース)



1

区民を守る

区独自の給付金・コロナ対策・防犯・水害対策

2

区民を支える

経済・高齢者・子どもなど

3

未来へ繋ぐ

脱炭素社会へ／オリパラレガシー
子どもたちの芸術体験／エリアデザインなど

1 区民を守る

区独自の給付金・コロナ対策・防犯・水害対策

2 区民を支える

経済・高齢者・子どもなど

3 未来へ繋ぐ

脱炭素社会へ／オリパラレガシー
子どもたちの芸術体験／エリアデザインなど

守る

くらし

「あだちから」生活応援臨時給付金①

世帯所得200万円以下の課税世帯へ、**区独自**の給付金を実施

当初予算

5,990,606千円

支給対象世帯

- ・世帯合計所得が200万円以下
- ・国の給付金を受給できない

→ 約5万9千世帯

支給額

世帯あたり **10万円**

支給時期

令和4年4月下旬以降、順次(予定)
対象世帯に申請書郵送

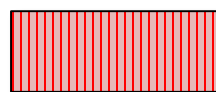
6万世帯

世帯数

各所得階層における対象世帯数
(R4.1.5現在数値で試算)



非課税世帯
(国の給付金の対象)



課税世帯
(国の給付金の対象外)

世帯所得

45万円

100万円

200万円

約5万9千世帯
(37%)

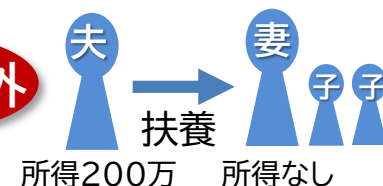
(63%)

例: 同所得だが、住民税が課税の場合と非課税の場合

課税世帯

世帯合計所得200万円

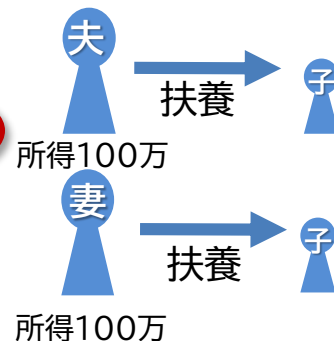
国対象外



非課税世帯

世帯合計所得200万円

国対象



世帯所得が同じだが、国の給付を貰える世帯と貰えない世帯がある

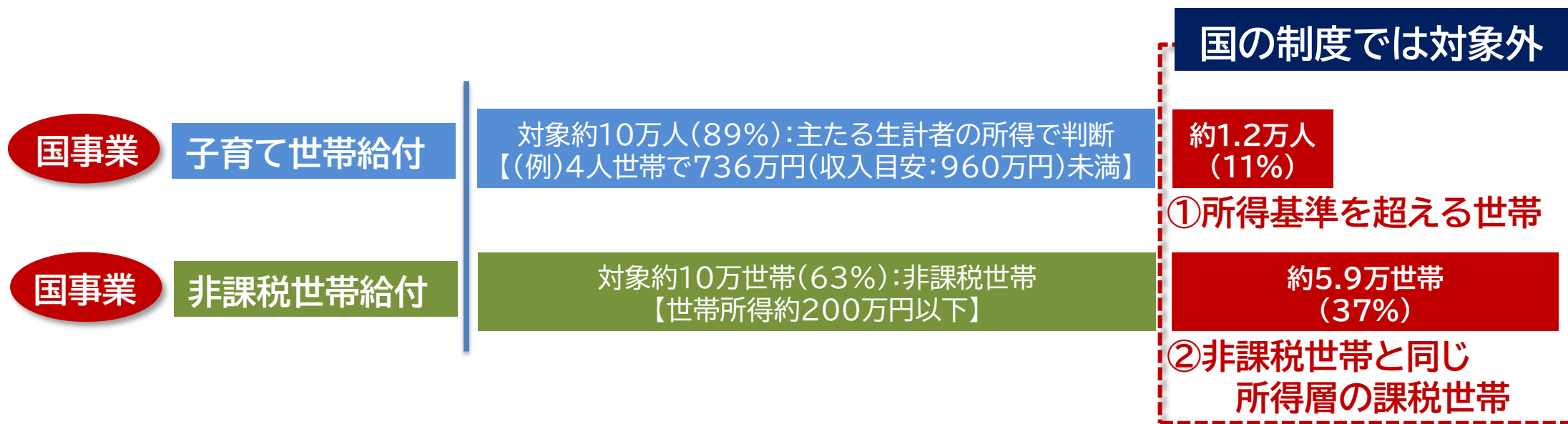
守る

くらし

「あだちから」生活応援臨時給付金②

令和3年11月

- 新型コロナウイルス感染症による経済的影響への支援を目的に、「子育て世帯」と「非課税世帯」への臨時給付金を閣議決定



- 区民から給付対象の拡大を求める意見が寄せられ、また区議会から低所得世帯への支援の要望が出される

国の制度では対象外となる
①と②の支援を検討

コロナ禍で困窮する
②低所得課税世帯への
支援が最優先

守る

感染拡大対応

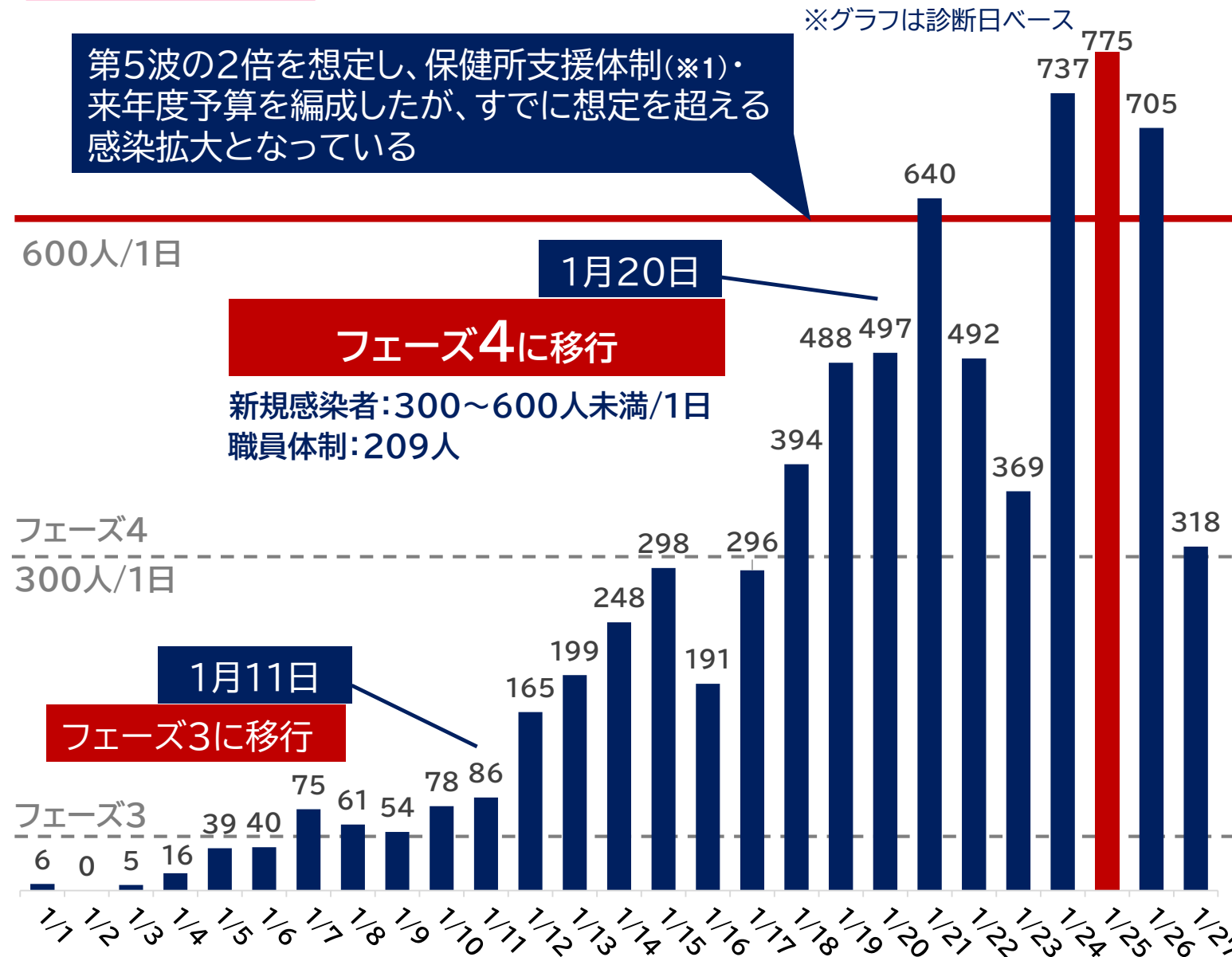
保健所の現況

<予算額>
733,022千円

第5波の2倍を想定し、保健所支援体制(※1)・来年度予算を編成したが、すでに想定を超える感染拡大となっている

※グラフは診断日ベース

※1 4段階による保健所の支援体制



	フェーズ1	フェーズ2	第5波相当 フェーズ3	第5波の2倍 フェーズ4
新規感染者数	15人未満 /1日	15～30人 未満/1日	30～300人 未満/1日	300～600人 未満/1日
自宅療養者数		50～600人 未満	50～600人 未満	600人以上
人員体制(増数)	67人	76人 (+9人)	145人 (+69人)	209人 (+64人)
人員確保先		衛生部内	全庁内	全庁内

現在、フェーズ4の209人より**約100人**多い職員体制で取り組んでいます。

職員は、下記業務に従事しています。

【患者対応する業務】

積極的疫学調査・初動調査

健康観察業務

【事務作業】

発生届受理・HER-SYS登録

その他事務

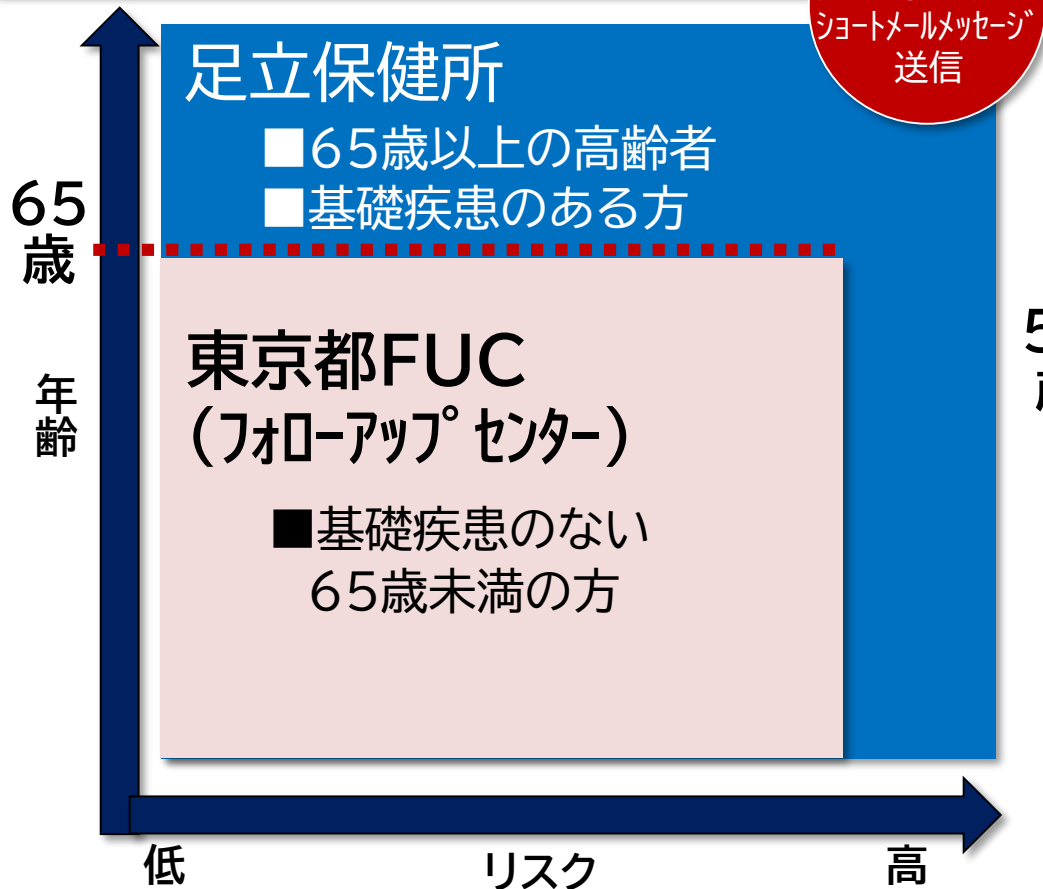
守る

感染拡大対応

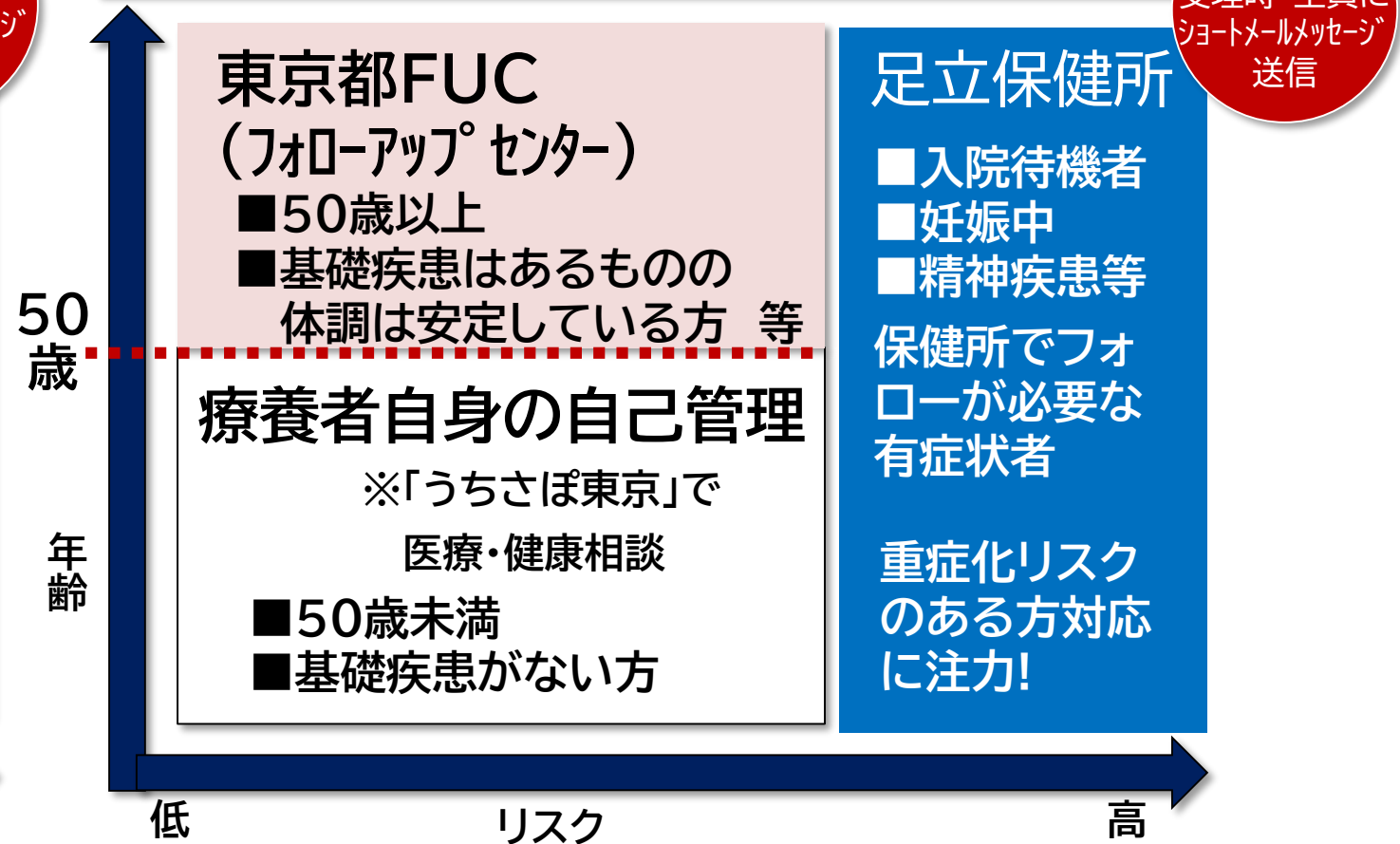
自宅療養者の健康観察

- 自宅療養者の急激な増加に対応し、東京都が対応を変更(1/28に都から説明あり)
- 年齢や重症化リスクに応じたフォローアップ体制に変更

これまで



今後 2022.1.31(発生届受理分)から



守る

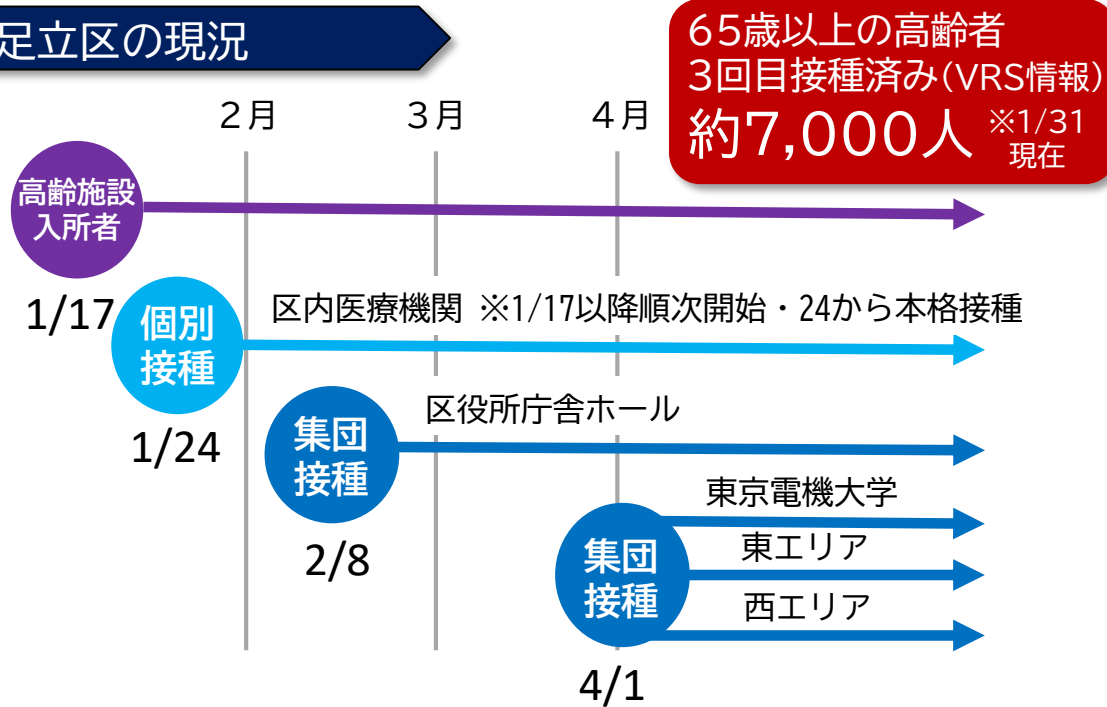
感染拡大防止

円滑なワクチン接種①

<予算額>
4,395,087千円

3回目接種 進んでいます

足立区の現況



1/13の「国のさらなる接種期間前倒し」方針を受けて

①65歳以上は2回目接種から6か月経過後

②64歳以下は7か月経過後

上記期間で接種可能

順次、接種券発送中

さらに加速

1/28に
国からの新たな指示

64歳以下の者については、
ワクチンの量や接種体制に余力がある場合、
6か月以上経過した者に対し
3回目の接種を行うこと

足立区の今後

7か月経過後
6か月経過後

64歳以下の3回目接種前倒し

令和4年2月1日(火)から

18歳以上の方、全員対象

守る

感染拡大防止

円滑なワクチン接種②

予算計上準備中

5～11歳のワクチン接種について

接種券の発送

3月中旬(予定) 約36,000人

接種会場

区内小中学校の体育館
計23校を利用

接種ワクチン

ファイザー社製ワクチン(小児用)

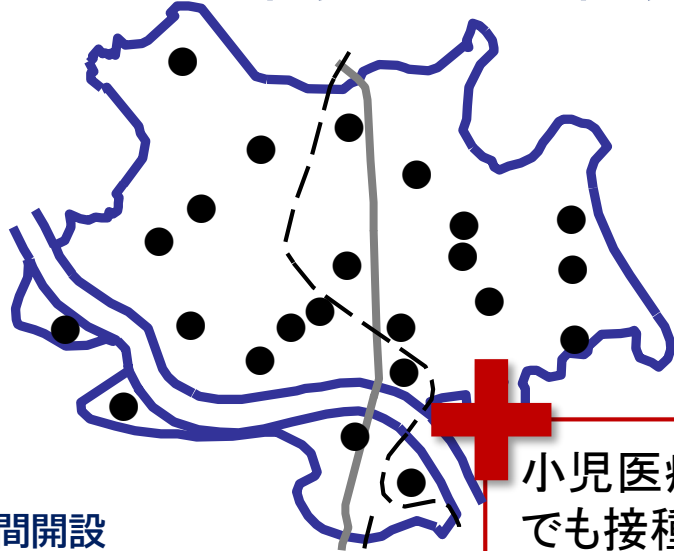
接種期間

3月26日(土)

5月15日(日)

【予定】

- 各土日6校ずつ8週間開設
- 1校あたり500回で週6,000回接種



小児医療機関
でも接種できる
予定

1月27日(木)の国からの事務連絡により、「令和4年3月から接種開始できるよう準備すること」との指示を受けた

この指示に基づき、足立区では、3月26日(土)から5月15日(日)まで、毎週土曜、日曜に各6か所の小・中学校の体育館を接種会場とし、週当たり6,000回の接種が可能な体制を整える

今後も国からのワクチン供給量を見極めながら、接種券の発送等を進めていく

国からの安定した
ワクチン供給が**必須**

守る

防犯対策

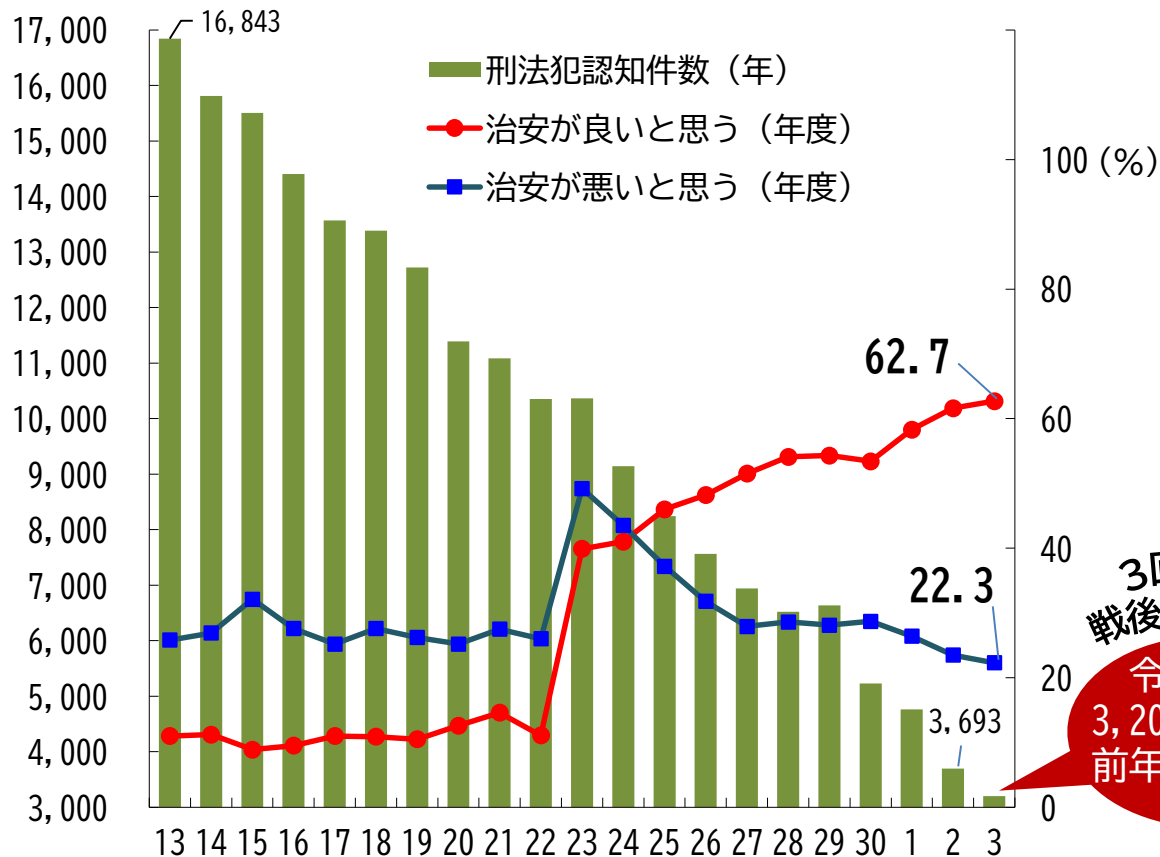
さらなる体感治安の向上へ①

令和3年

刑法犯認知件数は4年連続減少(前年比△14%)

体感治安は改善(前年比+1.1%)

(年間件数)



刑法犯認知件数の大幅減少に比べ、体感治安の改善は緩やか

刑法犯認知件数の大幅減少と体感治安のギャップを解消するために

課題①

区内防犯カメラ設置数の不足

- 刑法犯認知件数が減少傾向にある中、小学生以下の被害は増加
- 子どもが被害に遭う時間帯は、放課後の活動時間帯(15時～17時)に集中

※以上、東京都のデータより

課題②

刑法犯認知件数の約3割を占めている自転車盗

- 被害の約6割が無施錠の自転車
- マンション・戸建てなど自宅敷地内の被害が約6割

守る

防犯対策

さらなる体感治安の向上へ②

対策① 防犯カメラの設置による防犯力強化

設置場所を通学路から放課後活動地域へ拡大

予算**34,650**千円 **+50台** 放課後活動地域とは、子どもが学校から帰宅後、塾や公園等に向かう際に通行する道路のこと
【設置台数】594台→**644**台へ

町会・自治会向け防犯カメラ設置助成

予算**76,500**千円 **+170台**

【設置台数】733台→**903**台へ

- 設置に要する費用の95%を助成
- ※ 1団体につき限度額は570万円
- ※ 1台当たりの限度額は60万円

令和4年度末 区内合計**2,400**台設置

区内カメラ分布のメッシュ値は**約70%**へ

目標**3,000**台、**80%**(令和7年度)



対策② コロナ禍の自転車盗対策

予算**1,268**千円

- ボイスセンサーを活用した**非接触による防犯活動**
- 被害翌日の被害場所周辺での青パトによる広報活動
- 警告札や標語シール等を活用した啓発活動

ボイスセンサーの活用例



人感センサー

スピーカー



75か所→**100**か所設置へ

- 区営・民営駐輪場 55か所
- 地域学習センター等の駐輪場 20か所

守る

水害対策 水害に負けない足立区へ①

これまで

避難行動要支援者を対象とした
個別避難計画書を作成

■計画書を作成する優先区分を設定

- ・自宅の浸水リスク
- ・自力避難の可否
- ・避難支援者の有無
- ・介護/障がいの度合い

R3.11に再通知し未返信だった方から返信。約2,100件が新たに対象に

優先区分を5段階で設定



優先区分が高い方から順次計画書を作成

■1件ずつ訪問して計画書を作成

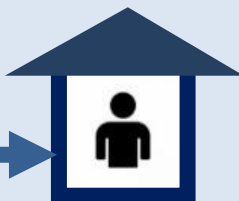


福祉部職員



要支援者と繋がりが深いケアマネジャー等

一緒に訪問



要支援者宅

R3作成数(見込み):約300名(A:70名、B:250名)

継続実施

進めるなかで見えてきた課題

促進

計画書の新規作成

R4予定数:400名

区分A・B

に該当する要支援者の
計画書作成が急務!

当初Bの
未作成の方

新たな対象の
A・Bの方

- ・自宅が浸水
- ・自力避難不可
- ・支援者無し
- ・浸水リスクが高い
- ・医療的ケア児

令和4年8月末まで完了予定

課題①

定期的な計画書の確認・更新

体の状況の変化等を把握しておく必要性

+

計画書は今後も更に増

↓

毎年確認・更新が必要

足立区
避難行動要支援者
水害時個別避難計画書

本計画書の対象者
(住所) 氏名

足立区水防係(西橋本本部)
令和3年5月
ADACHI CITY

課題②

避難先でのケア体制への不安

避難先での介助やケア等
に対する不安・負担

↓ ちゅうちょ
避難を躊躇

排泄介助

食事介助

更衣介助

夜間見守り

清拭介助

せいしき

守る

水害対策

水害に負けない足立区へ②

<予算額>
13,000千円

対策①

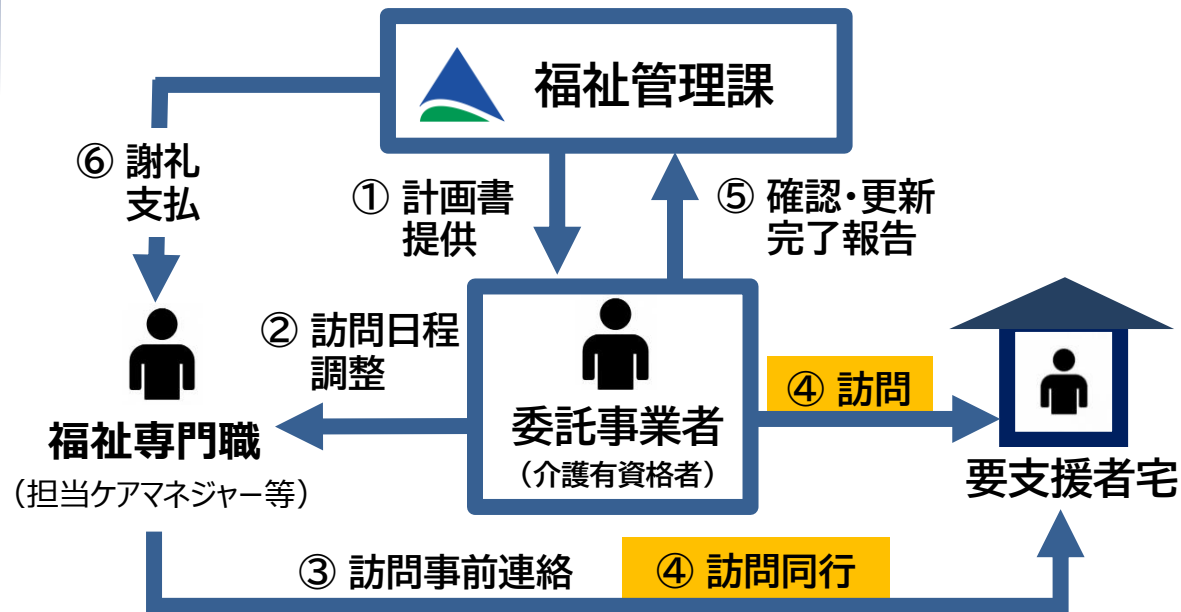
作成した計画書の更新

対象

約250名

※ 令和3年度に計画書を作成した方
区分A: 70名、区分B: 180名
(施設入所者や転出・死亡等を除く)

委託事業者と福祉専門職が連携した訪問確認



これにより

計画書が必要な要支援者への
区職員による訪問・作成が

更に
加速

対策②

福祉避難所でのケア体制整備

想定

3日間開設

※ 台風が最接近する前日から
3日間避難所を開設する想定

委託事業者を通じて介護有資格者/看護師を新たに配置

介護有資格者は
左記訪問確認も行い顔
が見える関係を構築



補助スタッフは9-10
月(台風シーズン)は避
難所開設に備え待機

原則2名で1チームとして必要なケアを実施

配置イメージ

1チームで
概ね10～15名の
要支援者を対応

福祉避難所名	配置数
都立花畑学園	最大3チーム + 看護師1名
総合スポーツセンター	最大5チーム + 看護師1名
こども支援センターげんき	最大2チーム + 看護師1名

1

区民を守る

区独自の給付金・コロナ対策・防犯・水害対策

2

区民を支える

経済・高齢者・子どもなど

3

未来へ繋ぐ

脱炭素社会へ／オリパラレガシー
子どもたちの芸術体験／エリアデザインなど

支える

経済

春夏秋冬 切れ目のない消費喚起

第1弾

<予算額>
49,915千円

令和4年4月～5月



レシートde90周年事業

アナログ
対象者不問

1 事業者登録 (2/1～4/28)

目標1,500店

- 3/1までの申込で本事業登録店一覧冊子に掲載
- 登録店には「スタンプ」を送付
「あだちの輝くお店セレクション」選出店⇒**特別スタンプ**
その他の登録店⇒**専用スタンプ**



2 レシート対象期間 (4/1～5/31)

- 【登録店】1会計**900円**以上のレシートにスタンプ押印
- 【消費者】スタンプ済レシートを9枚集める

90周年にちなんで**900円以上を9枚**



3 商品券申請期間 (4/4～6/15)

- 【消費者】集めたレシートを台紙に貼って区へ申請
※ 申請は1人1回まで
※ 9枚全て同一店舗のレシートは不可
- 申請内容審査後、商品券発送

9枚揃っていたら**2,000円分**

特別スタンプレシートが1枚以上含まれていたらさらに**500円分を追加**

4 協力金振込期間 (7/1～7/31)

- 登録店の確保、個店支援として、事業終了後
協力金 **10,000円**を支給

支える

経済

春夏秋冬 切れ目のない消費喚起

第2弾

<予算額>
100,000千円

令和4年7月~12月 商連プレミアム商品券事業

アナログ+デジタル

【対象者】

紙券:区内在住・在勤・在学

デジタル券:不問

1 プレミアム率 20%

1セット6,000円分の商品券を5,000円で販売

2,000円分 → 大規模店舗を含む全店舗

4,000円分 → 中小店舗でのみ で使用可能

※ 商連加盟店舗は規模に限らず中小店舗扱い

2 店舗数 1,500店(予定)

通常の商品券事業の取扱い店

1,300店舗

今回の事業では

200店舗の増を目標

取り扱い店舗
2月1日~募集

3 デジタル 商品券発行

1円単位の
決済が可能

商連初

【デジタル券】2万セット

+【紙券】4万セット ※紙券は1円単位の決済はできません

申込セット上限数

【紙券】1人最大4セット

【デジタル券】1人最大4セット

申込期間・方法

令和4年5月1日~31日(予定)

専用のハガキまたは商連ホームページ

※ 申込み多数の場合は抽選

販売期間

令和4年7月1日~10日(予定)

区商連キャラクター
『がまぽん』



支える

経済

春夏秋冬 切れ目のない消費喚起

第3弾

<予算額>
885,050千円

スマートフォンを活用した

令和5年1月 (祝) キャッシュレス還元祭de90周年事業

デジタル
対象者不問

1 還元率 20% 【付与上限】2,000円分/1回
10,000円分/期間(R5.1.1～31)

(例1)1回の会計で3,000円キャッシュレス決済した場合
⇒3,000円の20%=600円分ポイント還元

(例2)1回の会計で12,000円キャッシュレス決済した場合
⇒1回の上限が2,000円のため、2,000円分ポイント還元

2 区内の 約7,000か所で使える R4.1月現在

【対象店舗】大型店、チェーン店除く 区内店舗

3 還元額8.5億円 経済効果42.5億円

売上増加率は、キャンペーン実施前の2倍以上 ※ 他自治体
聞き取り結果

スピーディーなスマホ決済！



自分でコードを読み込み
金額を入力

または



店舗にコードを
読んでもらう

お財布不要！スマホ1つで簡単決済
さらにこんなメリットも！

小銭のやりとりが
無くなり衛生的

ポイントが
貯まる

支払い履歴の
確認ができる

支える

高齢者

住み慣れた地域でイキイキと暮らす

1 命を守る

重症化を予防

- ① 高齢者インフルエンザ予防接種費用の無料化を継続 【636,208千円】 継続
- ② 高齢者肺炎球菌ワクチン【60,486千円】
(うち新規分 23,131千円) 【令和5年度まで】
東京都補助事業への上乗せにより、接種費用を無料化 新規

2 くらしを支える

安心感を高める

- ① 高齢者住宅改修給付事業 【13,320千円】
住宅改修項目に「階段昇降機」を追加 新規
- ② 地域包括支援センター支援システム構築
(令和5年5月稼働開始予定) 【63,691千円】
・区と各地域包括支援センターを専用回線で結び、
情報共有できる共通システムの構築に着手 新規

高齢者の

くらしを守る・支える

3 活力の創出

- ① 地域の単位老人クラブ・友愛クラブ 拡充
連合会の活動を活性化
活動の充実・会員増強を応援 【27,873千円】
- ② 元気応援ポイント事業の 拡充
活動対象拡充 【14,200千円】
ご近所でのボランティア活動
(ごみ出し支援、清掃活動など)を追加

元気を増やす

4 介護人材の育成

- ① 介護人材の資格取得費助成 拡充
初任者研修:1人につき7万円上限 【6,980千円】
実務者研修:1人につき10万円上限(40人→60人)
※研修受講者枠拡充は実務者(初任者は前年度同)
- ② あだちで暮らしてあだちで介護職 拡充
宿舎借上げ費用を助成 【9,600千円】
(月額4万円を上限・最大3年間)
※福祉避難所の指定施設以外にも対象を拡大

人材不足解消

支える

若年者

困難を抱える若者・子どもの未来を支える

課題

子どもの健康・生活実態調査

都立高校教員からの聞き取り

中学3年生や高校生及び高校等を中途退学した15歳から25歳前後の若者メンタルヘルス不調などの生きづらさを感じている ➡ 不登校、中退、ニートなどに至るケースも

- 高校生の就労支援や再入学などのサポートが不十分 など
- 医療的配慮が必要な高校生以上の若者が相談できる専門的窓口がない

- これまでの条例では基金の使い道が限定的

若者を支える1

中高連絡協議会を発展

若年者支援協議会の設置

(令和4年1月設置) ※法に基づく組織体

若者を支える2

運営可能な組織・団体に委託予定

あだち若者ワンストップ相談・支援

センター(仮称)の設置

新規

子どもを支える1

あだち子どもの未来応援基金

活用幅の拡大 (令和3年3月設置)

高校中途退学予防の強化

- 中学教員や区のスクールソーシャルワーカー等が高校の個別会議に参加
- 生徒の状況に応じて、高校教員やユースソーシャルワーカーと支援策を一緒に考える

医療的配慮が必要な若者への社会的自立をサポート

早期介入は都内初

- 精神科医などの専門職が早期に介入し相談
- チャットを活用したオンライン相談や訪問相談
- 医療機関への受診同行、各種手続きのサポート等
- 医療、進学、就労等関係機関へつなぎ、連携支援

困難な状況の子どもに必要な支援を充実

条例改正(12月改正済)で活用幅を拡大

- 食の確保が必要な子どもたちへ食の支援
- 学校の長期休業中に実施する子ども食堂などの開催費

高校中途退学後の支援

- 公的機関、NPO団体と連携
- 相談から個別支援計画の作成、支援まで一貫して実施

予算額: 20,426千円

予算額: 19,670千円

対策

支える

子ども

子どもの理解度に応じたICT教育の推進

New 令和4年4月 専管組織

学校ICT推進担当課を新設

期待 ICTを活用した教育活動のプロモーター、
コーディネーターとしての役割

- ICT環境の整備
- ICTを活用した学びの推進

令和4年9月 配備完了予定

予算額
1,083,818千円

- 全児童・生徒のタブレット端末 5,814台購入
約4万5千台をChromebookに統一
- 専科教員・非正規教員も含めた 1,100台購入
教員一人一台の端末環境を実現

解消 端末の混在、児童・生徒の不公平感
端末立ち上げ時間の授業への影響

児童生徒のつまずきに
応じた学習環境を充実

具体的
な取組

ICT機器の効果的な
活用のノウハウを習得

AIドリルの本格導入

タブレットで
デモあり

予算額
222,645千円

児童
生徒

- ・苦手な教科、わからないことは個々で違う
- ・プリント問題は、全員一律の内容になってしまう

教員

- ・個別の課題を分析し、個々にあった課題を提示するには時間と労力を要する

対象→全小学3年～中学3年生
教科→国語・社会・算数/数学・
理科・英語

個別最適な学び
による弱点の克服

ICT支援員の派遣回数拡充

予算額
297,511千円

教員

- ・教員一人ひとりのICT機器の操作力の向上
- ・整備されたICT機器を最大限活用し、授業に生かす

- ICT支援員 週1回 → 週2～4回

派遣拡充

- 教員への研修強化
研究実践校での公開授業研究
ICT認定教育者研修の実施

授業改善
指導力の向上

1

区民を守る

区独自の給付金・コロナ対策・防犯・水害対策

2

区民を支える

経済・高齢者・子どもなど

3

未来へ繋ぐ

脱炭素社会へ／オリパラレガシー
子どもたちの芸術体験／エリアデザインなど

繋ぐ

脱炭素で住み続けられるまち

脱炭素ロードマップ策定

2030年までの具体的な取組と工程

環境基本計画に基づく環境保全行動指針パンフレットの作成

予算額
16,565千円



CO₂ゼロへ4つの挑戦

1 省エネ創エネ機器の導入促進

新たに2つの
省エネ機器補助新設

■ 電気自動車用等充電設備補助金

予算額
1,500千円

区民・中小事業者向け

急速充電(上限50万円)
普通充電(上限10万円)

■ 低公害車買替え利子補給等助成

予算額
427千円

区内の中小事業者向け

買替え費用の利子補給・信用保証料

2 再エネの導入促進

家庭、自営業者、中小企業など対象
(従量電灯B・Cの電力契約)

■ 再エネ100%電力導入サポート

予算額
12,174千円

再生可能エネルギー100%
由来の電力プランへ
電力契約を見直した世帯・
小規模オフィス向け

導入協力金20,000円を支給
(500件)

切替後、2年間支給(最大4万円)

23区初

3 環境意識の醸成

行動変容に繋がる
周知活動を展開

■ CO₂ゼロキャンペーン・環境フェアの実施

予算額
15,396千円

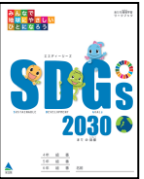
CO₂ゼロ推進

関連企業や環境団体と連携した
キャンペーンや環境SDGsフェア

■ 環境学習出前講座の実施

予算額
4,400千円

小学校向け講座20校→30校に拡充
中学校向け講座10校
町会・自治会などには環境保全講座を実施



4 循環型社会の実現

食口入の発生抑制
ごみの分別、資源化を推進

■ 古紙等リサイクルの見える化・製品化

予算額
1,000千円

小学校で集めた
古紙等を活用した製品

リサイクルの流れを見える化し
再資源化の理解を深める

繋ぐ

東京2020大会オリンピック・パラリンピック レガシー事業の確実な定着と深化

<予算額>
20,761千円

次なる10年
区制100周年にむけて

共生社会先進国「オランダ」との連携事業で生まれた2つのレガシー
スポーツをツールとしたインクルーシブな社会を目指す

あだちスポーツコンシェルジュ

- アウトリーチ支援の拡大
- 障がい者施設等への出張相談の開始
- ステークホルダーのネットワーク拡大
 - ・ 情報発信強化(メルマガ開始)
 - ・ ボッチャ教室運営開始(月1回)
 - ・ パラスポーツ体験教室運営(月2回)



ボッチャ出前体験会



スペシャルライフコート

スペシャルライフコート

スペシャルライフコート
フェスティバル開催(予定)
4月29日(金・祝)

会場:総合スポーツセンタースペシャルライフコート周辺

内容:ダンス・運動教室体験、ステージ発表、パラスポーツ関係者
トークショー、障がい者サッカーエキシビションマッチ 等

障がいのある方を対象とした運動教室

拡充 事業者向け回数増 New 個人向け教室の開始

大規模会場(味の素スタジアムを予定)での試合観戦・競技
体験、運動教室参加障がい者の活動発表

繋ぐ

子どもたちの心に残る体験を提供

<予算額>
97,856千円

小学生の豊かな心を育むため、令和4年度から良質な文化芸術の鑑賞機会を提供

【現状】 鑑賞の機会の減少（コロナ感染拡大の影響）

過去1年間で文化芸術の作品に触れたことがある割合

文化・読書・スポーツ
に関するアンケート
(対象: 小5・中1)

平成30年

89 %



令和3年

58 %

【効果】 自尊感情や外向性の向上

青少年の体験活動に関する調査
研究(文科省)

小学生の頃の体験が
多ければ多いほど...

自然体験・社会体験・
文化的体験など



成長に良い影響
を与える

自尊感情・外向性・
精神的回復力など

【感動】 誰もが知っている一流の観劇

- 学校行事としての実績多数
- 学校数の多い足立区でも
対応できる体制が整っている

90周年スタート

芸術鑑賞体験

劇団四季



- ◆ 『ライオンキング』
- ◆ 『美女と野獣』

実施

小学5年生

約5,000人が参加

学校単位で
バスにて
会場へ



繋ぐ

エリアデザイン①

綾瀬



Area Design
Promotion Headquarters

まち×デザイン＝未来



広場と公園の一体感 × ゆとりある歩行空間創出

綾瀬駅前交通広場

令和6年度
供用開始予定

イメージ図

民間開発

取得用地(交通広場)

隣接公園と一体感
がある整備検討中

ハト広場

▼綾瀬駅

※詳細については協議中のため、実際の整備と異なる場合あり

令和4年度予算額：
3,418,295千円
駅前交通広場整備用地費ほか

整備期間：
令和5年度～6年度

令和4年度主な予定

- ・ 用地取得
- ・ 交通広場設計

令和5年度以降主な予定

- ・ 交通広場工事

交通広場概要

- ・ 面積:約1,500㎡ (うち取得面積:1,288㎡)
- ・ はるかぜのバス停:4か所
- ・ タクシー乗車場 :1か所(タクシープール有)
- ・ 身障者用乗降場 :1か所

繋ぐ

エリアデザイン②

北綾瀬

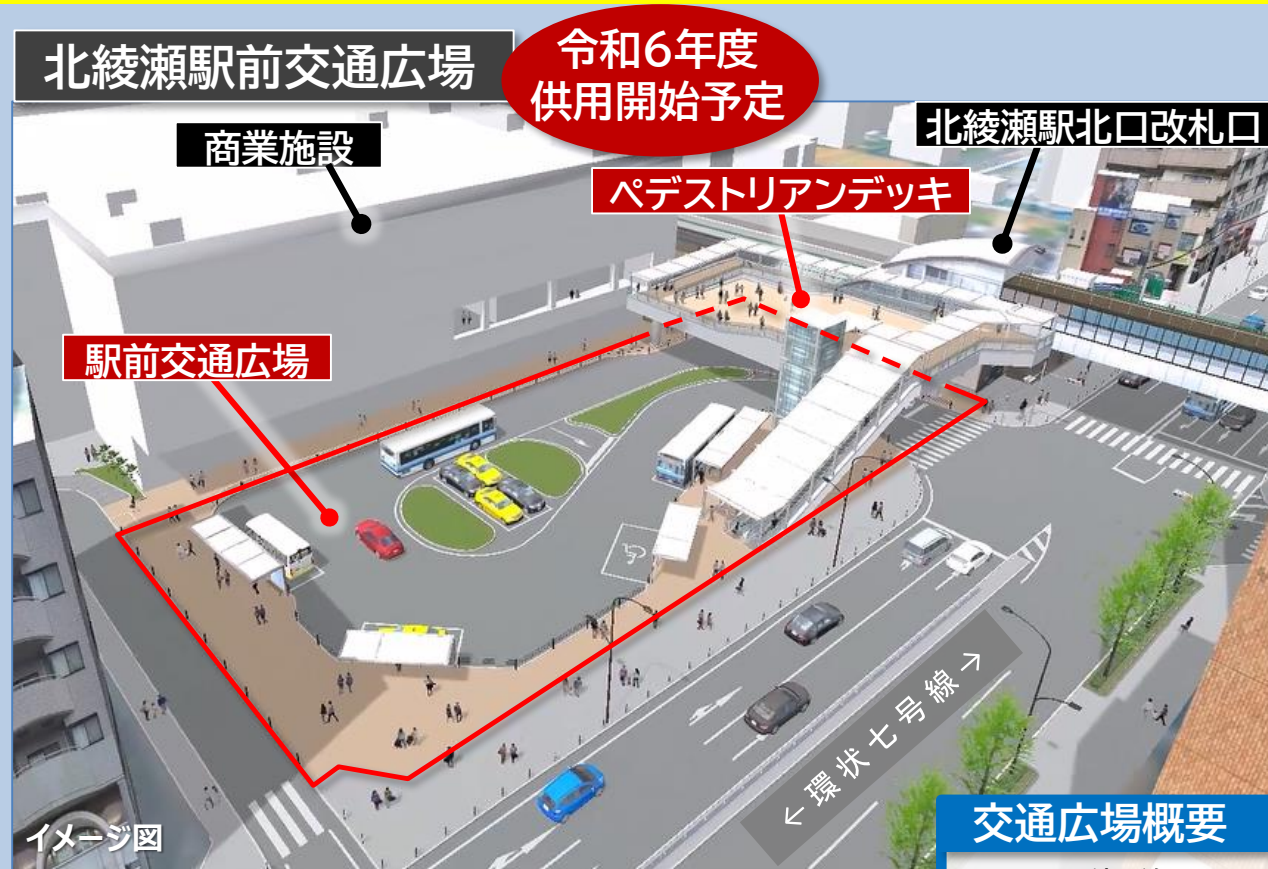


Area Design
Promotion Headquarters

まち×デザイン＝未来



広場整備×商業の誘致で更なる魅力向上



イメージ図

※詳細については協議中のため、実際の整備と異なる場合あり

令和4年度予算額：
457,000千円
駅前交通広場整備工事費ほか

整備期間：
令和4年度～6年度

令和4年度主な予定

- ・ 既設の道路下に埋設している下水道管などの移設工事
- ・ デッキ基礎工事

令和5年度以降主な予定

- ・ デッキ架設・広場工事

交通広場概要

- ・ 面積:約2,250㎡ (うち取得面積:1,766㎡)
- ・ 路線バス・はるかぜのバス停:各1か所
- ・ タクシー乗車場 :1か所(タクシープール有)
- ・ 身障者用乗降場 :1か所

北綾瀬駅周辺の将来像
VR映像をご覧ください
(1分15秒)

繋ぐ

エリアデザイン③

江北



Area Design
Promotion Headquarters

まち×デザイン＝未来



『住んでいるだけで 自ずと ところとからだも**健康**になるまち』の実現へ!!



(仮称)江北健康づくりセンター
足立区江北5-14

完成イメージ



構造:鉄骨造/地上4階
敷地(延床)面積:約7,740㎡(約5,680㎡)

施設の
ポイント

健康寿命を支える

- 「気づく」「学ぶ・体験」「実践」の3ステップによる区民の健康意識の向上
- 女子医大足立医療センターなどを含めた女性専門外来等と連携した健康相談センターを検討

高齢者の生活を支える

- 「医療・介護情報・研修センター」を設置
- 「高齢者あんしん支援チーム」による要支援高齢者への支援
- 「在宅医療休日当番医制度」を創設

災害・感染症に備える

- 上階に主要諸室を配置し浸水被害を軽減
- 災害時、「第2の保健所」として、非常発電による72時間の運営が可能
- 感染症流行時にも対応できる休日応急診療所を設置

令和6年
7月以降
運営開始
予定

令和4年度予算額：
2,449,460千円
江北健康づくりセンター工事費ほか

整備期間：
令和4年10月～6年6月
令和4年度主な予定

- 建物基礎工事

令和5年度以降主な予定

- 地上建物工事
- 外構工事

東京女子医科大学附属
足立医療センター

繋ぐ

区外に向けたシティプロモーションの 始動 !!

第1弾

平成22年に東京23区初となる
シティプロモーション課を創設

足立区独自のインナープロモーションを展開

- 区民に「伝わる」広報物改革（年間約400件）
- 職員の情報発信力の強化
- 区内企業・団体など多様な主体とのつながり創出

シティプロモーション
アワード2021
金賞受賞



第2弾

区外からのマイナスイメージを払拭する
プラス プロモーションを展開

情報の拡散

今の足立の「売り」を
Web媒体等を活用
して効果的に発信

1,056千円

広報・メディア戦略を構築

- ヒアリング調査の実施
- 足立区のイメージ分析と効果的な発信ターゲットの設定

など

11,000千円

効果測定

区外からの足立区イメージ調査
を実施

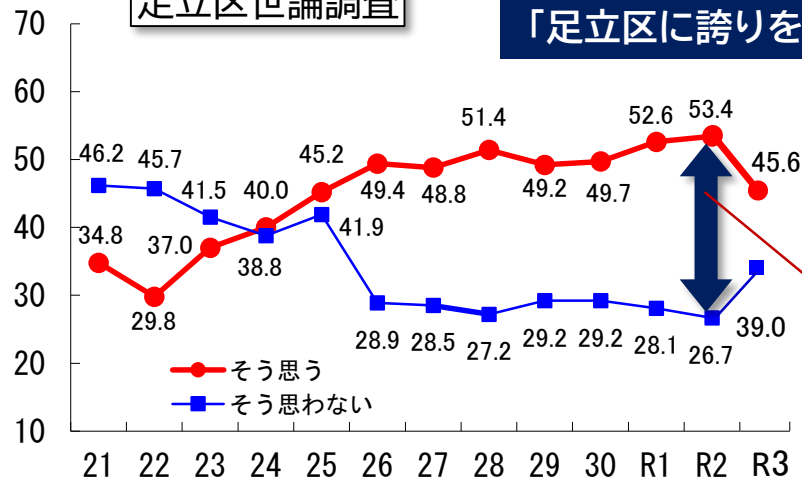
1,850千円

令和3年度から実施



足立区世論調査

「足立区に誇りをもっている」区民の割合



令和2年度
53.4%

平成22年度
29.8%

令和2年度
差が過去最大

“穴場だと思うまち”
“引っ越し先として人気が
高まりそうなエリア”
とされている一方、



今度、足立区に
引っ越すんだ

治安悪そう…
大丈夫!?





Go For 90th→100th

足立区をもっと元気に



Go For 90th→100th

足立区をもっと元気に



Go For 90th→100th

足立区をもっと元気に